

安全工学シンポジウム 2018 でのセッション企画

2018. 4. 27

鎌田 記

日時：2018 年 7 月 6 日 12:40 から

PD-4：自動車の自動運転の研究開発の現状と課題(150 分)

主旨：自動車の自動運転に向けた取り組みが加速してきており、世の中の期待も強くある。このような中で、日本学術会議において、自動運転に関する課題別委員会が今年度よりスタートしている。本セッションは、自動運転に関する最新の情報について広く知っていただくために、5 件の講演とそれに続くパネル討論により、自動運転の正しい社会実装にむけて議論を行う。

司会：大倉典子（芝浦工業大学）

1240-1245 (5) 挨拶。セッションの趣旨説明・永井正夫（日本自動車研究所）

1245-1305 (20) 毛利宏（東京農工大学）

「自動走行車両の安全性基準作成に向けた仕組みづくりについて」

1305-1325 (20) 藤原静雄（中央大学）

「自動運転の法律学から見た課題」

1325-1345 (20) 須田義大（東京大学）

「モビリティサービスの自動運転に向けた現状と展望」

1345-1350 (5) 休憩

1350-1405 (15) 永井正夫（日本自動車研究所）

「自動運転研究の推進における産学連携の取り組みについて」

1405-1420 (15) 鎌田実（東京大学）

「自動運転の社会実装にむけた課題と展望」

1420-1425 (5) 舞台設営

司会：宮崎恵子（海上技術安全研究所）

1425-1505 (40) パネル討論

（講演登壇者 5 名 + 2 名 [向殿政男（明治大学）、有本建男（JST）]）

1505-1510 (5) 閉会の挨拶